



日本での休憩



国籍	モンゴル
職種	介護
実習実施者	社会福祉法人 ハynesライフ
監理団体	GTS協同組合

ムンフバト エルデネトヤ MUNKHBAT ERDENETUYA

私はダライ＝ラマ第14世の「人生というのは幸せな瞬間の連鎖であり、生き残るための闘争ではありません」という文章を読んだことがあります。しかし、私はダライ＝ラマの言葉と違って、いつも明日のことへ忙いで、今日の幸せを気づかない人間だった。

私は1年半前、日本に来ました。朝日ホームで介護技能実習生として働いています。私は朝日ホームに来て、利用者のKさんと出会いました。私はKさんが好きです。なぜなら、彼女はとても穏やかで、いつも明るく輝くように笑っているからです。Kさんは表情を作って笑っているように見せかけるのではなく、心の底から笑ってます。私はKさんの近くにいるととても安心できるのです。

ある日、私がKさんに「何のために生きているのですか」と聞くと、「尿のため」と笑いながら即答しました。私もつい笑ってしまいました。その時、単純におしっこがしたくて、笑いながら答えたんだなと思うと、不思議でもなんでもありませんでした。Kさんは、ただ自分の体で感じていることを言っただけでした。「生きることはそんなに難しくないんだよ」と私に

教えてくれました。彼女と一緒にいると、時間が止まったかのように感じます。私は穏かで安心な過ごしているように思いました。「こんな穏かさを感じるのはKさんといるときだけ」と自身に問いかけました。いや、それは違います。

朝日ホームで働き始めたときから、日本人と話していると、とても落ち着きます。日本人は相手の話を最後までよく聞き、話しかける時の態度、仕事に対する振る舞いなどが私の心を落ち着かせてくれるのです。朝日ホームのおじいさん、おばあさん達とお話をして朗かに笑っている看護師さん。仕事での失敗を笑い飛ばしてくれる仲間。こんな仲間のいることに気づきました。そうです。モンゴルで3人の子育てに忙しくて休み日がなかった。私はここ、日本で人生という大冒険の最中、なにか休憩しているような感覚になっています。

これからもダライ＝ラマ14世の「人生というのは幸せな瞬間の連鎖であり、…」という言葉をかみしめながら、生きていこうと思います。